

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元氣・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより

校訓「やさしく かしこく たくましく」



「元氣・笑顔・成長」南小

第20号 令和6年2月5日発行

発行者 校長 田口広治

児童数 174
PTA数 128

地域に学ぶ～4年福山さんとの交流

■1月16日（火）に、4年生が地域の福山洋二さんとの交流会を行いました。総合「みんなにやさしい村に」の学習です。これまで、4年生は目の不自由な方の体験や介助に体験などを行ってきました。この日は、福山さんを案内したり、伴走と一緒に走ったりするなどしました。福山さんから声かけの仕方などを具体的に教えてもらっていました。



↑相良南小学校HP
学校だよりもカラーで
見ることができます！

次の時間は、歌と演奏を交えながら、講話をしていただきました。福山さんは「小学生のころいじめめる人がいたが、守ってくれる人がいて、とてもうれしかった」との話がありました。さらに、「思いやりの気持ちを持ってほしい」「いじめがあったら止めてほしい」との話がありました。私もギター伴奏を少し手伝いましたが、福山さんの歌は、心がこもっており、気持ちが伝わってきました。

4年生の子供たちも、心でしっかりと感じながら歌や話を聞くことができました。



地域を知る～5年地域の環境学習

■相良村の生物や環境について熊本県立大学の一柳英隆先生から教えていただいています。

第1回目の1月17日（水）には、絶滅危惧種の話を知りました。相良村は、「ハッチョウトンボ」だけでなく、多くの絶滅危惧種が残っている数少ない地域であることが分かりました。

相良村にしか生息していない生物もいることに、子供たちはとても驚いていました。



■1月29日（月）には、フィールドワークに出かけました。瀬戸堤北側にある自然生態園です。広く湿地帯となっています。長靴でなければ、入るのが難しい場所です。

歩いて回りながら、生物を探します。子供たちは、カエルの卵やゲンゴロウなどの生物を見つけることができ、楽しく活動することができました。

身近なところに、生物多様性を守るための貴重な場所があることを、体験を通して学ぶことができました。

■5年生は、1月19日（金）には、熊本県球磨川流域復興局の方から「緑の流域治水」について、学ぶ機会がありました。

人吉・球磨地域の地形を立体模型で確かめ、洪水が起きる仕組みや治水の重要性を理解することができました。

子供たちから「自分たちも防災意識を高めたい」との感想も聞かれました。

多面的に相良村の環境を知ることができています。



地域を知る～6年遊水地工事見学

■1月26日（金）には、6年生が柳瀬の遊水池工事を見学しました。

川辺川左岸のとても広い場所を工事されており、子供たちは驚いていました。

見学会では、吉松村長や国土交通省八代河川国道事務所の方から、「緑の流域治水」の一つとして、球磨川流域を守るための遊水池の重要性について話がありました。また、クイズでの説明や重機に乗る体験などもあり、楽しく学ぶことができました。

最後に、豊原楓佳さんが「緑の流域治水は人々の命を守る働きがあることが分かりました。自分にできることをしていきたいです」と感想を述べました。

地域を知り、自分にできることを考える学習となりました。

